

Eugrid SecureClient 導入事例集

目 次

1. コールセンター コスト削減と社内コミュニケーションの向上	3
2. 機械メーカー 役員用PCの保守と事業継続計画への対応.....	4
3. IT商社 モバイルオプションの社内利用	5
4. 教育委員会 限られたPCリソースの活用.....	6
5. 生命保険会社 大規模なシンクライアントシステムとの共存.....	7
6. 持ち株会社 セキュリティと利便性の両立	8

1. コールセンター コスト削減と社内コミュニケーションの向上

現状と問題 某コールセンターでは、オペレータは自席の専用 PC を使用して顧客の問い合わせに対応しています。夜間や休日の閑散期は少数のオペレータが広いフロアに分散し、照明や空調が無駄に使われていました。さらに、オペレータ同士の間隔が離れて情報交換がままならないため、閑散期には遊軍のベテラン要員を配置して問い合わせの応答品質を保つ必要があります。

解決 Eugrid SecureClient を導入すると、フロアのどの PC からでも個人専用のデスクトップ環境とデータを利用できます。このため、閑散期にはオペレータをコンパクトなエリアに集め不要な電力消費を防ぐことができます。また、オペレータ同士の相談や情報交換がしやすくなり、ベテラン要員が居なくても適切な応答が可能になりました。

Eugrid SecureClient の導入によって、人的リソースの効率的な配置が可能となり、運用コストが劇的に低減できました。また、Eugrid SecureClient の設定によって、無許可のデータの持ち出しは一切できなくなるので、顧客データの安全性が大幅に高まったのはいうまでもありません。

コールセンターの事例

夜間、休日のコールセンターランニングコスト削減



2. 機械メーカー 役員用 PC の保守と事業継続計画への対応

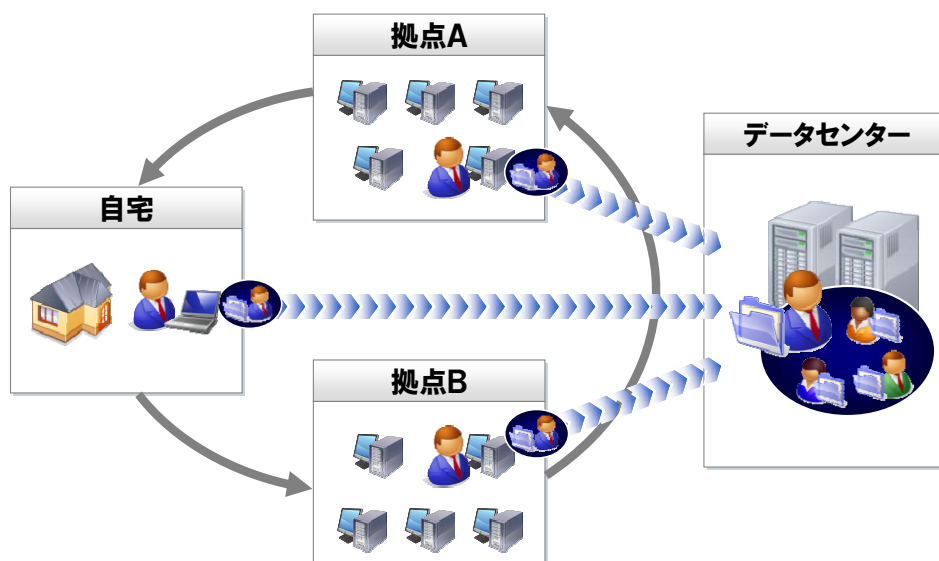
現状と問題 某大手機械メーカーは全国に拠点をもち、複数の役員が拠点を巡回して業務を処理しています。危険分散と、どこで同じ条件で仕事ができるように、各拠点到役員専用 PC を配置し、作業環境やデータを同一に保持しています。各拠点到役員の数だけある専用 PC を常時正確に同じ状態に保つため、拠点ごとに要員を配置しているのが非常にコストがかかります。また、企業の根幹に関わるデータを扱うので、厳重なセキュリティが要求されます。

解決 Eugrid SecureClient を導入すると、どの拠点のどの PC であっても、役員がログオンするだけで、全く同じデスクトップ環境、同じデータを利用できます。これにより、役員専用 PC の台数を削減し、担当要員を廃止することができました。

また、新型ウイルスの蔓延で役員の移動が制限されたり、ある拠点が災害にあつて PC が破壊された場合でも、Eugrid SecureClient の設定された PC さえあれば、どこにいても通常通りに仕事を継続できます。これは、BCP（事業継続計画）の重要な要素の一つになります。

役員用ワークベンチとバンデミック対応

任意の拠点でいつでも全く同じ環境で仕事ができる



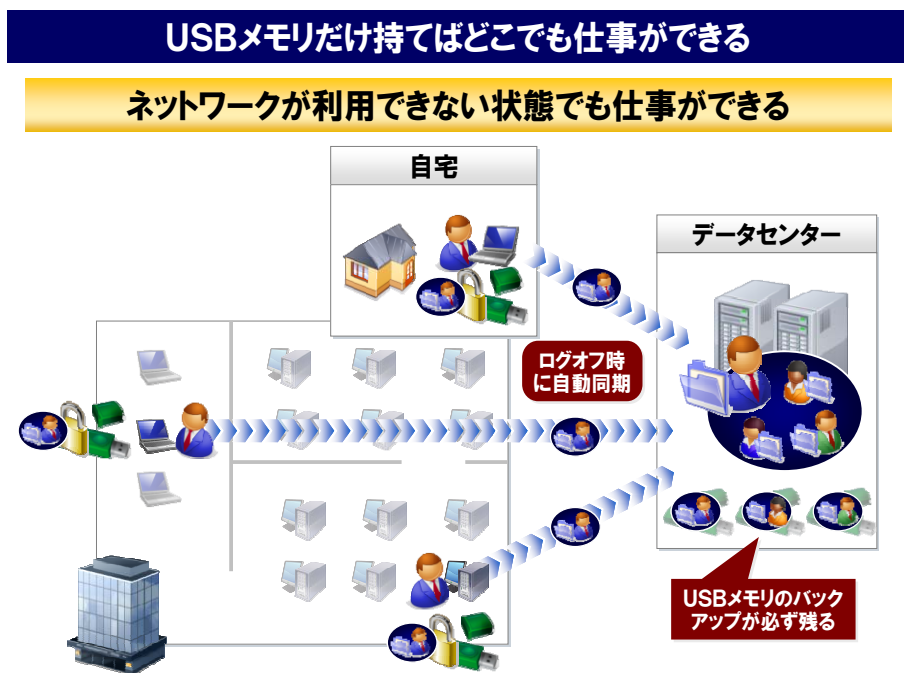
3. IT 商社 モバイルオプションの社内利用

現状と問題 某最大手の IT 系商社では、国内外への出張で社員の不在が多くオフィススペースの利用効率が低いという問題を抱えています。また社員は、出張先や自宅でも社内と同じデータで作業をしたいという希望があります。しかし、企業機密に属するデータもあるので持ち出しは容易ではありません。

解決 Eugrid SecureClient を導入することで、オフィス内のどの PC でも、ログオンすれば、個人のデスクトップ環境で個人のデータを利用できます。これによって、フリーアドレス化が実現でき、事務デスクと PC を社員数だけ用意する必要がなくなりました。

また、モバイルオプションを付加することで、通信環境が整備されていない社外であっても、個人専用の USB メモリーを持参して社内同様に業務を処理でき、データの安全も確保できました。同時に、社内業務でも同じ USB メモリーを使用することで、社の内外を問わず常に同じ作業環境を実現でき、うっかり USB メモリーを更新せずに持ち出すような失敗を防げます。

通常の USB メモリーは便利な記憶装置にすぎませんが、Eugrid SecureClient のモバイルオプションでは、あたかもセキュアな可搬型サーバのような特殊な役割を果たします。

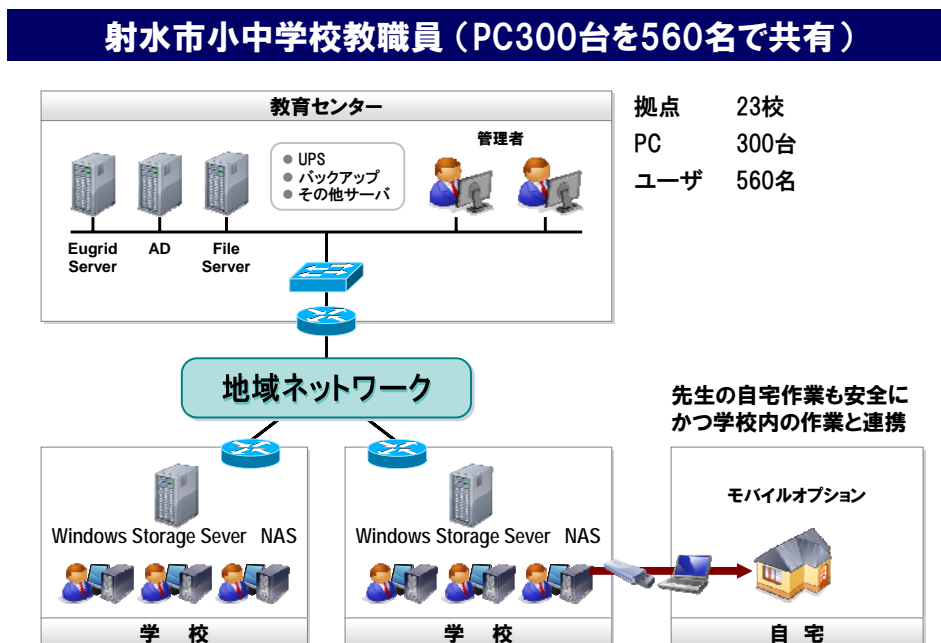


4. 教育委員会 限られた PC リソースの活用

現状と問題 富山県射水市教育委員会では、教職員の校務負担を軽減するために「校務の IT 化」を決断しました。そのためには教員 1 人に 1 台の PC を配布する必要があります。しかし、限られた予算で短期間に必要なだけの PC を揃えることは困難です。そうかといって個人所有の PC の利用を許すと、PC の移動に伴う紛失や盗難による情報漏洩の危険があります。

解決 Eugrid Secure Client なら、既設 PC をそのまま利用して、シンクライアントシステムが実現できます。Eugrid SecureClient の導入によって、教職員は校内のどの PC でも自分のデスクトップ環境とデータが利用できるようになりました。その結果、PC の利用効率が高まり、教職員 2 人に 1 台強の PC しかないにも関わらず、実質的には「1 人 1 台の配布」に近い利用環境が実現できました。

Eugrid Secure Client では、PC 内部にデータを保存せず、ファイルサーバで集中管理されるので、情報の持ち出しを抑制でき、安全性が確保されました。また、どうしても自宅作業が避けられない現状もあり、モバイルオプションを利用して安全に自宅作業をする作業方式も導入されつつあります。

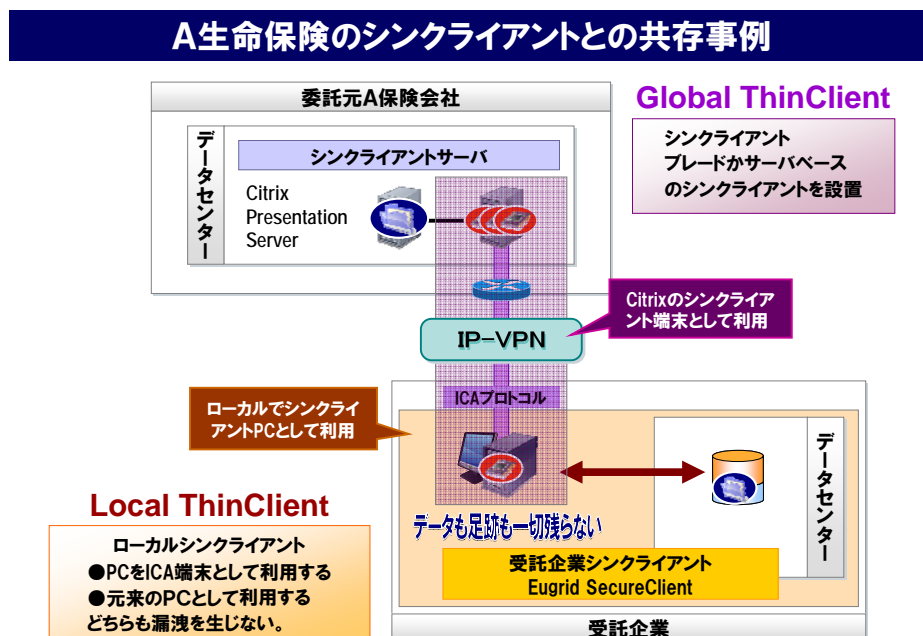


5. 生命保険会社 大規模なシンクライアントシステムとの共存

現状と問題 某大手生命保険会社では、サーバベースの大規模シンクライアントシステムによってデータ入力などの業務を処理しています。この作業を国外に委託することになりました。シンクライアントシステムの専用端末を委託先に設置するのが一般的なソリューションですが、これでは費用面でもスペース面でも無駄が多すぎます。

解決 委託先の会社の既存の PC リソースを利用しない手はありません。保険会社のシンクライアントシステムは画面転送方式で、端末側（委託先）は一般の PC に無償のクライアントソフトをインストールすれば済みます。しかし、同じ PC が社内の業務で使われているときに無防備であっては困ります。

Eugrid SecureClient は、このシンクライアント端末に使用する PC にも導入することが可能です。業務受託会社は、同じ PC を使用し、生命保険会社の業務を処理するときはクライアントソフトを稼働して対応し、それ以外の時間帯は、Eugrid SecureClient の管理下で一般のオフィスの業務をこなすことができます。こうして受託側の既存の PC やアプリケーションなど IT 資産を活用しつつ、保険会社にとっても受託会社にとっても、情報漏洩のないセキュアな業務環境を構築することができました。



6. 持ち株会社 セキュリティと利便性の両立

株式会社 C ホールディングスは、作業効率を妨げることなく情報漏洩を防止できる業務システムを模索していました。大規模なシンクライアントシステムをはじめ各種の製品を長期にわたって評価してきた結果、最終的に、Eugrid SecureClient の採用を決定しました。

株式会社Cホールディングス社が大規模導入

セキュリティと利便性の両立をねらって

各種の製品を評価 => 最終的にEugrid SecureClientに決定

製品評価のポイント

- 導入コストが低く、展開が容易である
- ビジネススピードや利便性を損なうことなく情報漏えいリスクを軽減出来る
- 柔軟性が高く、多様なユーザーニーズに対応できる
- 構成がシンプルでセンター運用コストを低く抑えられる

展 開

現在 => 本格的な導入展開中

戦略 => 安全性を高めつつ競争力も高める

今後の展開 => 全体に戦略を浸透させるためにグループ全社展開

現在、C ホールディングス社内で本格的な導入を進めています。さらに、導入効果の最大化を狙って、企業ポリシーに Eugrid SecureClient の導入を必須とする規定を含め、30 数社あるグループ企業の全社導入を義務付けています。